

**暮らしと憲法を守る日本共産党の前進を！「六・一五演説会」に、あなたもご参加を！**

**「近所のみなさん、日本共産党です。」**

七月五日公示、二十二日投票で、参議院選挙が行われます。日本共産党は、暮らしを守り、憲法と平和を守るために、全力をつくす決意です。

六月十五日(金曜日)には、さいたまスーパーアリーナを会場として、志位和夫委員長を迎えて、「演説会」を開催します。お誘いあわせのうえ、是非、ご来場ください。

**みなさん。**

六月から、住民税の大幅な引き上げが行われようとしています。昨年に続く、二度目の引き上げです。サラリーマンのお宅には、既に、六月から住民税が今までの二倍以上にはね上がる、通知が届いているのではないのでしょうか。驚いている方も、いらっしやると思っています。

県税事務所や各自治体の担当者は、駅頭で、ピーアール活動までして、住民税増税について、理解を求めようとしています。いわゆる「税源移譲」の説明です。今まで所得税として納めていた分の一部を、住民税として納めるだけで、納める税金全体としては、変わりがないかのような宣伝です。

**しかし、みなさん。**

実際には、それにとどまらないから大変です。

所得税に続いて、住民税の定率減税が廃止されます。その結果、たとえば上尾市の場合で見ると、夫婦と子ども二人・年収七百万円のモデルケースで、年間四万一千円もの増税になります。高齢者の場合、老年者非課税措置が廃止になりますから、本当に大変です。

大企業が史上空前の規模の大もうけをあげる一方で、働く人達の収入は増えるどころか、減っているのが実情です。重い税金が、暮らしを圧迫しているのではないのでしょうか。医療や年金、子どもの教育費など、負担は増える一方です。それに追い討ちをかける増税など、許せません。

日本共産党は自民・公明の安倍内閣に向かって、「住民税増税やめよ」という声をつきつけるために、緊急署名運動にとりくんでいます。ご協力をよろしくお願いいたします。

**みなさん。**暮らしが大変なとき、それに追い討ちをかけるような自民・公明の政治を続けさせてよいのか、今度の参議院選挙で問われます。

日本共産党は、国の責任で、国民健康保険税を、一人あたり一万円引き下げること、健康保険証の取り上げを止めることを、要求します。子ども医療費の無料化を自治体任せにしないで、国の制度として確立することを、求めます。悪政の大本を変え、日本共産党を、大きくしてください。比例代表選挙では、日本共産党、埼玉選挙区では、あやべ澄子さんを、よろしく願っています。

**「近所のみなさん。」**

憲法九条改悪のための、改憲手続き法が強行されました。

最低投票率の定めもない、ひどい法律を急いでつくった自民・公明はもとより、法案作成の段階から、協力してきた民主党の責任は、重大です。

**みなさん。**

安倍首相は、憲法問題を参議院選挙の争点にすると言いました。

ねらいは、憲法九条改悪です。アメリカといっしょに、海外で武力行使ができる国にするために、まず、憲法解釈を変え、次に憲法九条そのものを、変えようとしています。

**みなさん。**

アジア・太平洋戦争で、二〇〇〇万人もの人達を犠牲にしたのが、日本の侵略戦争でした。いわゆる「従軍慰安婦」問題は、この戦争の傷痕の深さを、示しているのではないのでしょうか。

二度と戦争はしないと誓った、九条の力こそ、アジアと世界の人々と日本を結ぶ、「きずな」です。

日本共産党は、憲法改悪にきっぱり反対です。米ソ対立がなくなった今こそ、九条の心を世界に広げるときです。日本共産党と、あやべ澄子を、よろしく願います。ありがとうございました。

五月十日、さいたま市内で、改憲手続き法案について、広く県民の意見を聞く、「公聴会」が行われました。自民党推薦の口述人は、何と、衆議院憲法調査委員会・会長・中山太郎氏の元秘書で、四月の県会議員選挙で当選したばかりの田村たくみ県会議員でした。これは、最悪の「やらせ」ではないでしょうか。実際、田村県会議員は、「投票に行かない人には、消費税を上げるなど負荷(ふか)を加えていく」などと、法案の不備を棚にあげて、筋違いの、とんでもない意見を述べていました。審議のなかで、五百万人もの、公務員や学校の先生たちの、国民投票運動を制限する根拠がないことも、明らかにされました。日本共産党の議員が、「憲法について語ることが、どうして職務の公正や中立性を害するのか」と質問すると、自民・公明の提案者は答えることができませんでした。

やりかたも、内容も、メチャクチャな欠陥法案、改憲手続き法案の採決・強行はやめよという声を、あげていこうではありませんか。

**みなさん。**

日本共産党は、日本を、アメリカと一緒に海外で武力行使が出来る国にする、憲法九条改悪にキッパリ反対です。憲法九条は、二十一世紀の世界をリードする、最も確かな外交の力です。

参議院選挙では、憲法九条を守る日本共産党をよろしく願います。ありがとうございました。